

# 国語科学習指導案（略案）

平成 28 年 11 月 18 日（金） 2 校時  
高等部国語 A グループ 女子 2 人 計 2 人  
場 所 こ と ば の 部 屋  
指 導 者 柳 元 香 菜 美

## 1 題材 「絵を見て話そう」

## 2 本時の実際 (22/22)

### (1) 全体目標

思い出かるたをすることを通して、写真の様子を言葉や音声ペンで表現することができる。

### (2) 個人目標

生徒	個人目標
A (2年, 女)	思い出かるたをすることを通して、写真の様子を「〇〇が△△を～する。」と言葉で表現することができる。
B (3年, 女)	思い出かるたをすることを通して、写真の様子を「〇〇が～する。」と音声ペンで表現することができる。

### (3) 指導及び支援に当たって

前時までに生徒たちは、写真を見て文を作る活動を通して、「〇〇が～する。」や「〇〇が△△を～する。」と写真の人物と様子を捉えることができるようになってきた。

そこで本時では、思い出かるたをすることを通して、写真の様子を音声ペンや言葉で表現できるようにしたい。具体的には、以下のような指導及び支援を行う。

#### <導入>

- 前時の学習を写真で振り返ることで、これまでの学習を想起したり、本時の学習への見通しをもったりすることができるようにする。関

#### <展開>

- 学習で使用する写真は、AとBのふだんの学校生活や学校行事の様子などにすることで、学習に対する意欲を高めたり、学習したことを生活場面で生かしたりすることができるようにする。関、表
- 写真の様子を文で表す活動では、Aは文字カード、Bは写真カードとシンボルカードを使うことで、生徒が得意な方法で文を構成することができるようにする。基
- 自分で構成した文を伝える活動では、Aは文字カードを読み、Bは音声ペンを使用することで、文を主体的に表現することができるようにする。表
- AとBが向かい合わせになるように場の設定を行うことで、友達の様子を参考にしたり、称賛し合ったりすることができるようにする。関
- 思い出かるたで使用する読み札や取り札は、これまでの学習で扱ったものも使用することで、今までの学習を生かしながら「これならできそう」と自信をもって学習に取り組むことができるようにする。思・判

- 写真の様子を正しく文で表したときや、思い出かるたで正しく読んだり、取ったりすることができたときには、頑張り表に丸を付けることで、できたことを実感したり、学習への意欲を高めたりすることができるようにする。関

#### <終末>

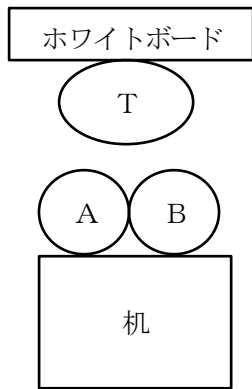
- 頑張り表を使って本時の学習を振り返ることで、学習の達成感を感じることができるようにする。また、頑張り表は学習ファイルにとじることで、学習の様子をいつでも振り返ることができるようにする。表

## (4) 実際

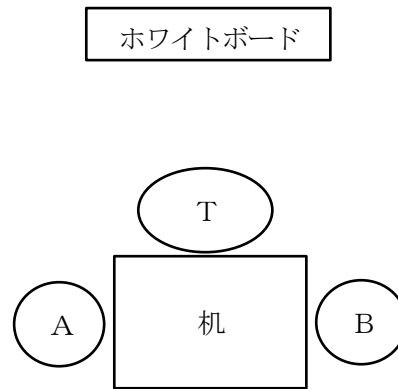
過程	主な学習活動	指導及び支援上の留意点	資料・準備
導入 (7分)	1 始めの挨拶をする。 2 前時の振り返りをする。 3 本時の学習について知る。 思い出かるたをしよう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時の学習を写真で振り返ること、前時の学習を想起したり、本時の学習への見通しをもったりすることができるようにする。</li> <li>流れを板書し、説明することで、本時の学習を知ることができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時の学習の様子を表した写真</li> <li>学習ファイル</li> <li>ホワイトボード</li> </ul>
展開 (38分)	4 写真の様子を文で表す。 (1) 教師が提示する写真を見る。 (2) 文を作る。 (3) 自分で作った文を読む。 (4) 正誤を確認する。 5 思い出かるたをする。 (1) 読み札を読む。 (2) 取り札を探して取る。 (3) 正誤を確かめる。 ※ 役割を交代して(1)～(3)の活動を繰り返す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>写真の様子を文で表現すること、5の活動につなげることができるようにする。</li> <li>写真の様子を表す文については、Aは「〇〇が△△を～する。」と文字カードで、Bは「〇〇が～する。」と写真カードやシンボルカードで表すなど実態に応じて課題内容を調整することで、意欲的に活動に取り組むことができるようにする。</li> <li>読み手は1回ずつ交代して説明する機会を多く設けることで、文字カードを読んだり、音声ペンを使ったりして写真の様子を表現することができるようにする。</li> <li>読み札は、写真カードと文が載ったミニホワイトボードを使用し、取り札は写真カードを使用することで、正しく取り札を取ることができているかを読み札の写真カードでも確認することができるようにする。</li> <li>正しく文を構成したときやかるたの読み札を正しく読んだり、正しい取り札を取ったりしたときには、頑張り表に丸を付けることで、できたことを実感することができるようにする。</li> <li>使用後の読み札や取り札はホワイトボードに貼ることで、できたことの積み重ねを視覚的に捉え、達成感を感じることをできるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ミニホワイトボード</li> <li>写真</li> <li>文字カード</li> <li>写真カード</li> <li>シンボルカード</li> <li>枠</li> <li>音声ペン</li> <li>ミニホワイトボード</li> <li>写真カード</li> <li>頑張り表</li> <li>ホワイトボード</li> </ul>
終末 (5分)	6 本時の学習を振り返る。 7 終わりの挨拶をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホワイトボードに貼った読み札や取り札、頑張り表を提示することで、学習の達成感を味わうことができるようにする。また、学習ファイルを見ることで、本題材全体を通して頑張ったことを振り返ることができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>頑張り表</li> <li>学習ファイル</li> </ul>

(5) 場の設定

ア 導入から終末(一部を除く)



イ 4 写真の様子を文で表す活動時



(6) 評価

ア 全体目標

思い出かるたをすることを通して、写真の様子を言葉や音声ペンで表現することができたか。

イ 個人目標

生徒	個人目標
A (2年, 女)	思い出かるたをすることを通して、写真の様子を「〇〇が△△を～する。」と言葉で表現することができたか。
B (3年, 女)	思い出かるたをすることを通して、写真の様子を「〇〇が～する。」と音声ペンで表現することができたか。

## 授業計画シート (ver.4)

学部	教科等名	学習集団 (グループ名等)	題材名	総時数 (実施時期)
小・中 <b>高</b>	国語	国語A	絵を見て話そう	22 時間(9月~11月)

題材の全体目標
○ シンボルカードや文字カードで文を作ることで、「事物の名称」と「事物の特徴」を捉えて写真の内容を表現することができる。

児童生徒名	個人目標	児童生徒名	個人目標
A	○ 文字カードで「だれが」「なにを」「どうした」という文を作ることで、写真の内容を言葉で表現することができる。		
B	○ 写真カードやシンボルカードで「だれが」「どうした」という文を作ることで、写真の内容を音声ペンで表現することができる。		

指導計画				
指導内容<基礎・基本>	次	時数	学習活動 <small style="text-align: center;">&lt;思考力・判断力・表現力/人間関係/主体性 を育む視点&gt; ※学習活動の後に該当する番号を記入する</small> <small style="text-align: center;">①学習した知識や技能を主体的に使う / ②自分の考えを主体的に表現する / ③主体的に友達と協力・協働する</small>	各教科等との関連 <small>教科等/単元・題材/主な学習活動・内容</small>
記入例：【書く：小一3】単語を組み合わせ、主語と修飾語、述語を整えて文を作る。(全員)  【話す：小一1】箱の中身に触れたり、においを嗅いだりして、何が入っているのかを教師の動きかけに応じて表情や身振り、絵カードを選ぶなどして答える。(B) 【話す：小一2】箱の中身に触れたり、においを嗅いだりして、何が入っているのかを絵カードを選んだり、言葉で表現したりする。 【聞く：小一2】教師や友達の簡単な説明や話し掛けが分かる。(全員) 【読む：小一2】写真に関心をもち、内容を読み取る。(全員)  【読む：小一2】サイコロの写真等に関心をもち、内容を読み取る。(全員)	一	3	1 箱の中身を当てるゲームをする。②, ③ (1) 箱の中身に触れたり、においを嗅いだりして感じたことを表情や言葉で表現する。 (2) 箱の中身を絵カードから選んだり、言葉で答えたりする。  2 写真カルタをする。② (1) 教師や友だちの顔写真でカルタをする。 (2) 複数の要素を含む写真でカルタをする。  3 サイコロゲームをする。③ ※二次でも継続する。 (1) 人物サイコロと動きサイコロを振り、サイコロの内容を実行する。	日常生活の指導 「朝の会」 → 健康観察で自分の名前が呼ばれたら返事をしたり、友達の返事の様子を見たりする。
【読む：小一2】写真に関心をもち、内容を読み取る。(全員) 【話す：小一2】写真の様子を簡単な言葉でまとめ、音声ペンで表現する。(B) 【読む：小一3】写真の様子を簡単な言葉でまとめ、短い文で表現する。(A)	二	11	4 動画や写真を見て、「誰が」「どうした」という文を作り、内容を説明する。① (1) 動画や写真を見て、人物を写真カードや文字カードで選ぶ。 (2) 動画や写真の様子を、シンボルカードや文字カードで選ぶ。 (3) (1)(2)で選んだカードをつなげて、写真の内容を説明する。	日常生活の指導 「基本的生活習慣」 → 手を洗う。靴の着脱。  生活単元学習 「やってみよう食生活のこと」 → 調理をする。
【読む：小一2】写真に関心をもち、内容を読み取る。(全員) 【話す：小一2】写真の様子を簡単な言葉でまとめ、音声ペンで表現する。(B) 【話す：小一3】写真の様子を簡単な言葉でまとめ、短い文で表現する。(A)	三	8	5 写真の様子を見て文を作り、内容を説明する。①, ②, ③ 5 自分の経験したことを、絵カードや文字カードで表現する。①, ②, ③ (1) 楽しかったことを写真で選ぶ。(1) 写真を見て人物を写真カードや文字カードで選ぶ。 (2) 絵カードや文字カードを選んだり、書いたりして文章にする。 (2) 写真の様子をシンボルカードや文字カードで選ぶ。(実態に応じて「誰が」「何を」「どうした」という文を作る) (3) 発表する。(3) (1)(2)で選んだカードをつなげて、写真の内容を説明する。 6 思い出かるたをする。 (1) 読み札を読む。 (2) 読み札の内容に合った取り札を選ぶ。 (3) 正誤を確かめる。	国語 「一年間のまとめをしよう」 → 写真を見て思い出を文に表す。  日常生活の指導 「帰りの会」 → 一日の振り返りで発表をする。  生活単元学習 「やってみよう食生活のこと」 → 買物や調理、食事をする。  生活単元学習 「後期現場実習に行こう」 → 目標の振り返りをする。

<年間指導計画との関連>
○基にした年間指導計画 <記入例：小・国 (○段階)「単元・題材名」> 小・国(2段階)「えばなしをしよう」

<実施時期や時数に関する評価>	
○実施時期 適 当 ・ 要検討 ( 頃 )	○必要と思われる時数 適 当 ・ 要検討 ( 時間程度必要 )

ミーティング	授業研究会
<例：○/(総時数)>	<例：○/(総時数)>